



↓旭日単光章を受賞した山口正男さん(牛渡)



旭 令和2年秋の叙勲 旭日単光章 山口 正男さん

平成7年に島村選挙管理委員会委員に選任後、霞ヶ浦町選挙管理委員会委員、かすみがうら市選挙管理委員会委員および委員長として、永きにわたり豊富な経験と知識を活かし、選挙の適正かつ厳正な管理執行の確保や選挙の啓発活動に尽力された功績が認められ受賞されました。「皆様のご指導ご鞭撻のおかげだと感謝申し上げます。これからも、明るい選挙の推進に努め、投票率が上がるように協力していきます」と受賞の喜びを話してくれました。

↓坪井市長に大会結果を伝える朝日さん(右)



最 令和2年度日本パラカヌー選手権大会 最終目標はパラリンピック出場

11月9日、石川県で9月に開催された全国大会に出場し、2位に入賞した朝日省一さん(宍倉)が、市役所を訪問。パラカヌーは、水上に設定された200m先のゴールを目指し、タイムを競います。朝日さんは、3年前のバイク事故により、車椅子生活となりましたが、リハビリを通じて2年前からカヌーをはじめ、パラカヌーの競技歴4カ月で全国大会に出場。今後の抱負は、「令和3年3月の高知県大会で優勝し、海外派遣選手に選ばれたい」と話してくれました。

健 地域の活性化と安全・安心な暮らしの確保 健康づくりのための協力

11月5日、「かすみがうら市と大塚製薬株式会社との包括連携協定」の締結式が行われました。この協定により、大塚製薬株式会社と緊密な相互連携と協働による活動を推進し、『地域社会の活性化と市民の安全・安心な暮らしを確保』するため、健康増進やスポーツ振興、食育、防災などで協力していきます。今後は、生活習慣病予防に関する食育や災害に関する支援など、市民の健康維持や増進、地域の活性化を図っていきます。



↑大塚製薬株式会社と地域の活性化を図るため協定を締結

幕 伊東甲子太郎顕彰碑除幕式 幕末を生きた新選組隊士

11月18日、伊東甲子太郎の命日に、志筑城跡(旧志筑小学校敷地)で「伊東甲子太郎顕彰碑除幕式」が行われました。伊東甲子太郎は旧中志筑村出身で、幕末に新選組の「参謀」を務めました。顕彰碑は、地域活性化のための活動をしている『中志筑史源保全の会』が市のまちづくりファンドを活用し、伊東甲子太郎の功績を後世に伝えるため建てられました。顕彰碑の除幕式には関係者や多くの地域住民が集まり、先人の足跡を称えました。



↑顕彰碑は樹齢500年超といわれるクスノキの前に建立

1 式典に出席いただいた受賞者の皆さん 2 受賞者代表謝辞を務めた坂本憲志さん



功労表彰(順不同・敬称略)

【統計調査員】

野口芳金、酒井一郎、坂本憲志、島田栄一、磯山道男、斉藤洋司、栗山洋

善行表彰(順不同・敬称略)

【不動産の提供】

菅澤洋子、菅澤真理、栗山正子

【寄附金の提供】

株式会社 TKC 代表取締役社長飯塚真規



↓クリスマスツリーにパープルリボンを付ける参加者



許 パープルリボン運動 さない女性への暴力

11月15日、あじさい館で女性に対する暴力根絶を呼び掛ける「パープルリボンの飾り付け」が行われました。11月12日から25日は、「女性に対するあらゆる暴力をなくす運動」の期間であり、その啓発の1つとして行われました。この日は、市高校生会の協力によりホールに設置されたクリスマスツリーに、啓発運動に賛同した子どもから大人までたくさんの参加者がパープルリボンを装飾していました。

合 オレンジリボン運動 言葉は「子どもを守ろう」

11月6日、茨城県内で「子どもを守ろう! オレンジリボンたすきリレー 2020」が行われました。『オレンジリボン』は、子どもの虐待をなくすことを呼び掛ける運動のシンボルマークです。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、車によるリレー運動となりました。市内では、わかぐり保育所や千代田中学校など子育て世帯が多い地区を回り、「子どもを守ろう」を合言葉に啓発運動が行われました。



↑リレーカーに啓発運動の旗を振るわかぐり保育所の子どもたち